

全国鐵構工業協会 青年部会 17 期理事会報告書  
( 期間 2025 年 10 月～2025 年 12 月 )

【 三役会・理事会実施報告 】

2025 年 10/16(木) 18:00～ 第 6 回理事会 (WEB)

- ① 17 期理事、18 期理事予定者の紹介
- ② 理事会と今後の予定について
- ③ 会計について
- ④ ノズルチップ事業(SDGs)委員会より報告と協議
- ⑤ 事業委員会より報告と協議
- ⑥ 溶接欠陥サンプルについて報告
- ⑦ 広報委員会より報告
- ⑧ 各ブロックの活動報告と今後の予定
- ⑨ 全構協との連携について報告と協議
- ⑩ 18 期全青会事業計画書について協議
- ⑪ その他

11/7(金) 13:00～ 第 7 回理事会 (対面)

- ① ノズルチップ事業(SDGs)委員会より報告と協議
- ② 全青会事業委員会より報告と協議
- ③ 広報委員会より報告と協議
- ④ 書記・事業報告委員会より報告
- ⑤ 会計について報告
- ⑥ 2026 年度会長会議、総会について報告と協議
- ⑦ 全構協との連携について報告と協議
- ⑧ 各ブロックの活動報告と今後の予定
- ⑨ 青年部向け保険についての説明
- ⑩ その他

12/26(金) 15:00～ 第 8 回理事会 (WEB)

- ① ノズルチップ事業(SDGs)委員会より報告と協議
- ② 全青会事業委員会より報告と協議
- ③ 広報委員会より報告と協議
- ④ 書記・事業報告委員会より報告
- ⑤ 会計について報告



- ⑥ 2026 年度会長会議、総会について報告と協議
- ⑦ 全構協との連携について報告と協議
- ⑧ 各ブロックの活動報告と今後の予定
- ⑨ 35 周年記念誌作成について協議

## 【 報告事項 】

### 1. 事業報告について

2025 年度も合計 4 回の事業報告（青年部活動報告・近況報告）を予定しております。皆様のご協力をお願いします。

各県、各ブロックの事業報告を確認いただき是非、自県の活動に活かしていただきたいと思います。

2025 年度第 1 回事業報告    案内：6 月 15 日  
期限：7 月 10 日  
報告：7 月末 HP に UP 完了

2025 年度第 2 回事業報告    案内：9 月 15 日  
期限：10 月 15 日  
報告：10 月末 HP に UP 完了

2025 年度第 3 回事業報告    案内：12 月 15 日  
期限：1 月 10 日  
報告：1 月末 HP に UP 予定

2025 年度第 4 回事業報告    案内：3 月 15 日  
期限：4 月 10 日  
報告：4 月末 HP に UP 予定



## 2. ノズルチップ収集活動（ノズルチップ・SDGs 活動）について

～ ノズルチップ回収期間終了の御礼 ～

本事業につきまして、2025 年 12 月 31 日をもって、収集期間完了とさせていただきます。  
ご協力いただき誠にありがとうございました。収集されましたノズルチップは、各地区で換金していただき、指定の口座にお振込みしていただきますようお願い申し上げます。  
今後の流れは以下の通りとなります。

- 換金：2026 年 1 月 1 日 ～ 1 月 31 日 迄
- 振込：2026 年 2 月 1 日 ～ 2 月 14 日 迄
- 最終報告：2026 年 3 月下旬
- 寄贈式：2026 年 4 月 24 日 第 35 回全国鐵構工業協会 青年部会 総会会場  
鉄鋼会館（東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10）

<振込先>

- 広島銀行 西条支店 普通 口座番号：3955893
- 口座名義：全国鐵構工業協会青年部会ノズルチップ基金 代表 坂本泰雄

※振込先を『ノズル 振込元都道府県名』で統一をお願いいたします。

（例：ノズル広島県）

尚、振込手数料は換金金額から引いていただき、お振込みください。



### 3. 全青会チャンネル（SNS 広報）について

全青会公式 LINE への登録、Instagram等のフォローをお願いします。HP へ UP した事項等をタイムリーに発信して行きます。

HP : <https://www.jsfa-y.gr.jp/>



Instagram : <https://www.instagram.com/zenseikai2023/>



X（旧 Twitter） : <https://twitter.com/zenseika>



LINE : <https://manager.line.biz/account/@874cmctf>



YouTube : [https://www.youtube.com/channel/UCAGGk\\_XcWu9rf9G5IWxHOXQ](https://www.youtube.com/channel/UCAGGk_XcWu9rf9G5IWxHOXQ)



#### 4. 溶接欠陥サンプルの貸し出しについて

##### ① 2025 年 12 月 5 日 上柿鉄工建設(株)様に貸出を行いました。

中堅ゼネコン社員(入社 5 年目)に対する「鉄骨造(S 造)管理ポイントの講習」に使用いただきました。

図面確認の重要性や、ファブ業界の現状、鉄骨造の管理ポイントなどの講習会を実施しております。



No. 1

工 種
測 点
欠陥サンプル使用状況
2025.12.5



No. 2

工 種
測 点
欠陥サンプル使用状況
2025.12.5



No. 3

工 種
測 点
欠陥サンプル使用状況
2025.12.5



## 5. 2026年度の全青会の方針・総会での審議事項について

### ～ 2026年度の全青会の方針 ～

2025年度の全青会は、全構協の下部組織になる方針を定め、組織体制の構築に向けて全構協と1年間協議して参りました。

青年部会員が減少し、業界の先行きが不透明な中、青年部会の受益のみを追いかけるのではなく、全構協からご指導ご鞭撻を頂き、視野を広げ、全構協 全青会にとって業界発展の為にどのような組織体制が適しているのか、これからの若い世代の為に、今何をしなければならないのか、この2点に焦点を定め協議して参りました。

その結果 事業による経営面 技術面の向上、情報交換・伝達機能の向上と、全構協と全青会の連携体制の底上げが今後急務であるとの結論に至りました。

それにより、全青会という独立した組織を全構協の下部組織に移行し、組織名につきましては、「全国鐵構工業協会 青年部会」略して「全青会」（委員会相当の位置付け）となる運びとなりました。これは全構協からの後ろ盾を頂きながら、青年部会の若さならではの発想を損なわず自主独自性を保ち、全構協の青年部会として自覚を持って活動し、一体的な組織となる事が全構協と全青会にとっても最善な方法との結論に至った為です。

いずれ我々も年齢や経験を重ね、全構協の幹部になる時がくるかもしれません。その時に必ず、青年部の力(自主独自性・情報伝達の速さ・若さならではの発想)が必要になります。その為にも全構協と全青会が連携を取りやすい体制を構築する事が最重要課題です。

会員の皆様におかれましてはご賛同をいただき、別紙の審議事項について4月24日の総会にてご承認を頂きたく存じます。

引き続き、全青会へのご理解ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

17期全青会会長 坂本泰雄



## 【 審議事項 】

### ● 全構協青年部会への移行の件

- ・役職名は「青年部会 部会長」、「青年部会 副部会長」となる。\*全構協形式で統一された名刺が支給される。
- ・組織の名前は、「全国鐵構工業協会青年部会」略して「全青会」とする。
- ・事業計画・予算については、事前の相互協議を踏まえた上で、全青会が作成し、全構協に提出し三役会、役員会の承認を得るという形にする。

・事業について検討する全青会の会議については、全構協で費用は負担し、また他の全構協の委員会と同様、事務局が事務方として参加する。

・全青会の事業方針や人事については、全青会（執行系）で方針と案を決定、全構協へ提出し承認を得るという流れになる。その後、青年部会内で承認をとるプロセス（決議≠法人の総会決議）は必要であり、運営方法は今後検討。

・全青会の人事については、青年部会が候補者を選定し、全構協側が承認する方式となる。但し、選ばれた人は、きちんと権限を持って会議に臨んでもらう必要がある。

・全構協から支出している各県の青年部を対象とする助成金については、引き続き継続し、今後 全青会が検討・実施する事業との整合を図り、効果的な対応をしていく。

### ● 委員会相当の組織になる事よっての利点

- ・全構協の部会（委員会相当）の位置づけになる事で、委員会同様、会議へ参加する為の交通費及び日当を全構協から支給される。
- ・年6回を東京の全構協事務所の会議室で役員会を開催する事が出来、充実した会議を開催する事が出来る。（役員会開催にかかる費用は全構協が支出）
- ・全構協はもちろん、関連団体からの情報（認定関係、技術面、業界情報）がいち早く入りやすくなる。
- ・全青会の事務 会計 業務は全構協事務局に委託する事になり、全青会内での業務の負担が減る。
- ・今の現役の青年部会員が全構協の幹部になった際、青年部会員と全構協の幹部と事務局との信頼関係が既に構築できているため、連携が取りやすくなる。
- ・全構協から予算を頂ける事で事業の幅が広がる。

### ● 今後、全構協と協議していく内容

- ・規約の修正（青年部会に関する部分を反映する）青年部会の規約若しくは内規を新たに作成。
- ・資金の扱い、通帳の整理等の確認と引継ぎ、全国大会会計、会計年度整理。
- ・全国大会の運営実務
- ・助成金の具体的な申請方法





## 6. 2024 年度全青会事業「仲間から学ぶ・各社の取組事例集」バナー追加

2024年度全青会事業として「仲間から学ぶ・各社の取組事例集」を各都道府県の皆様から集めさせていただきました。

全青会ホームページトップにいつでも見られるよう専用のバナーを追加しています。ぜひご参考にしてください。





全国鐵構工業協会青年部会 第 17 期 事業報告委員会

2026/1/20

